

NEWS Joint Meeting



リウネRCから寄贈されたウクライナ国旗の紹介をする藤牧正浩会長（四日市西RC）

リウネRCからは、ウクライナの国旗のほか、クラブバナーと民族衣装が贈られました。

四日市西RCからも、日本の国旗、クラブバナー、そして和柄の手ぬぐいを贈っています。

開催報告

ウクライナ中継例会

国際ロータリー第2232地区 Rotary Club of Rivne（ウクライナ）
国際ロータリー第2630地区 Rotary Club of Yokkaichi WEST（日本）

2022年9月30日

国際ロータリー第2630地区・四日市西ロータリークラブは、
ウクライナのロータリアン、ローターアクターたちとの
ライブ中継例会を開催しました。



ロータリー情報ミーティングのスケジュールを活用して開催

年に二度のR情報ミーティングは夜間の友愛例会とするのが四日市西ロータリークラブの慣例です。

この日程を利用することにより、時差のハードルを低くできました。

(日本時間18時半は、現地サマータイムの12時半)



卓話担当は、ウクライナ・リウネロータリークラブの2022-23年度会長、ユリアさん

ユリアさんによって用意されたスライドは、会場内では2つの大きなスクリーンに投影されました。

内容は、1、リウネロータリークラブについて 2、リウネの状況 3、ウクライナのロータリー活動の現状

「皆様を圧倒するような内容はできるだけ控えたい」

リウネという街のこと、そして、この街唯一のロータリークラブである、リウネロータリークラブのことが短く紹介された後、日常生活の様子について、写真を伴って伝えてくれました・・・

「激戦地の様子や、政治、軍事の様子は国際ニュースを通じてよく伝えられているはずですし、ロータリークラブ公式の例会において、皆様を圧倒するような内容にすることは差し控えたい」というのがユリアさんの考えでした。

こちらからも、報道ではわかりにくい日常の様子と、ロータリークラブとして行なっている活動の具体例を伝えてくださいとお願いしてありました。

しかしながら、やはり平時とは呼べない風景が見えてきました。・・・

「写真のとおり、学校には窓ガラスに防護フェンスが取り付けられているものの、通常通りに開校できていて、授業もできています。ただ、今日は、この中継が始まる直前に空襲警報が解除されたんですよ。先ほどまで、子供達はシェルターに逃げ込んでいたのです」

「カフェやレストランも、バリケードのようなものが設置された店舗の中で営業中です。このように確かに、戦争中ではあっても日常の生活はできています。でも、街ではお葬式がとても多く目につきます。私のSNSページでも、毎日のように、どこかで誰かのお葬式をするという投稿を目にしています」

「ロータリーはひとつの家族のようになった」

「ウクライナのロータリアンは、かつては文化交流や社会交流のような活動に重点をおいていましたが、戦争が始まってから、ウクライナのロータリアンはまるでひとつの家族のようになって、連携して支援活動をするようになりました」

「避難民の支援、兵士や消防士、医療関係者の支援を行なっています。日本やアメリカなど遠くの国からの支援を受けて消防車や救急車を購入したりもしています。最近では避難民に対する仮設住居の提供も始めました」

「日本のロータリアンに、お礼を伝えたい」

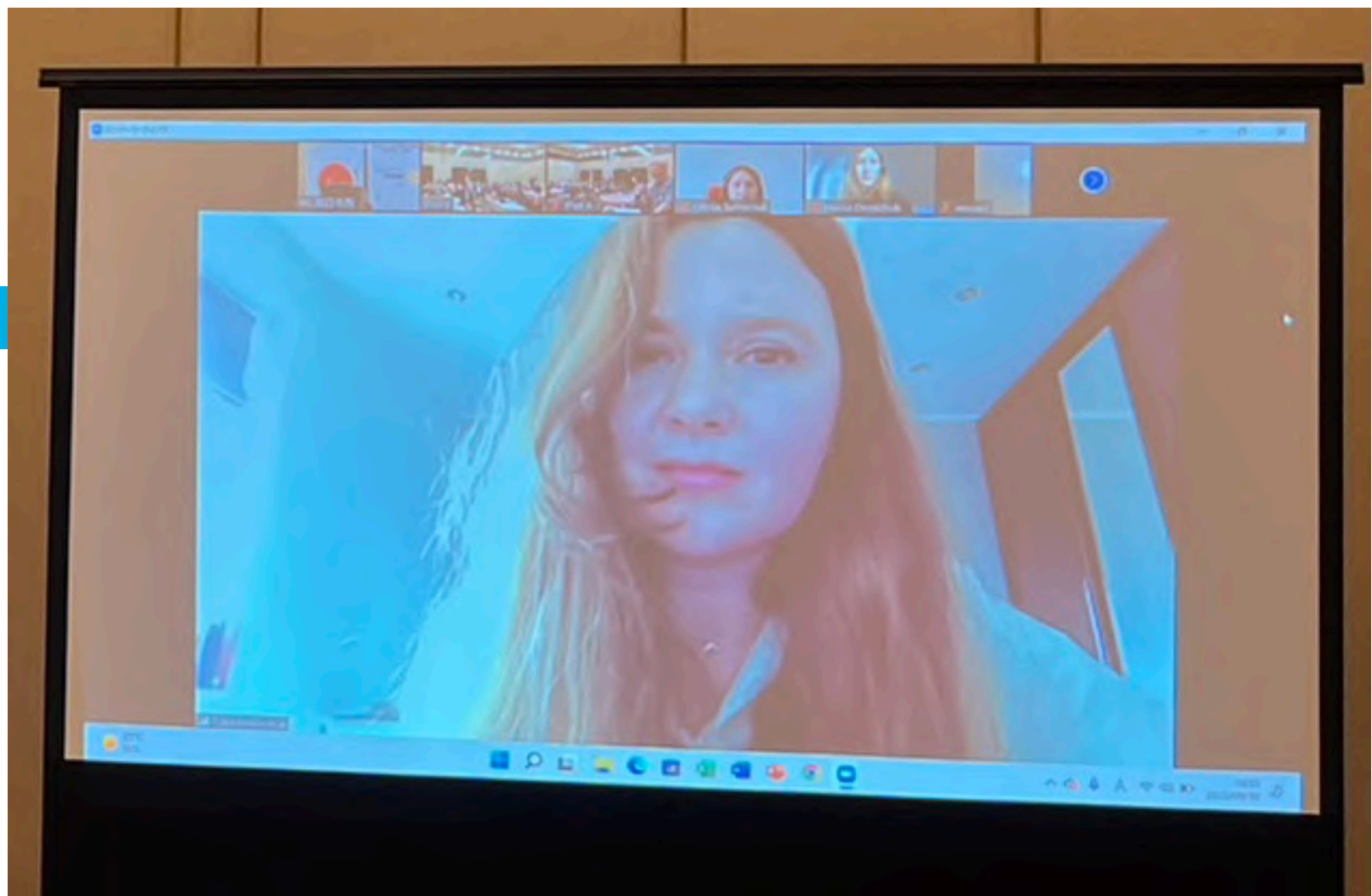
今回の中継例会を支えてくれた会長幹事へのお礼と合わせて、2022年4月に四日市西RCが制作し、公開した動画、『ウクライナのロータリアン』をご視聴、ご紹介いただいた方々へのお礼の言葉がありました。





ユリアさんが用意した最後のスライドは、北斎による「仮設の橋」でした。

この絵を選んだのは、「私たちの間にできた架け橋を大切に育ててゆきたいという思いから」と、ユリアさん。



四日市西RC 伊藤 隆 (PP) によるメッセージ

ユリアさんの卓話の後、四日市西RCの会長経験者である伊藤 隆会員がメッセージを伝えました。「日々の生活を守るための努力と助け合いを続けている皆様のことを尊敬します」と英語で話し、「ウクライナを支持します」と明確に伝え、「はやく貴方の国を訪問したいと思います」と締めくくった伊藤隆会員の声に、身を乗り出すようにして耳を傾けたユリアさんは、少し涙ぐんでいるようにも見えました。・・・「私たちの間には共通することがとても多くあると思います。皆様との交流を深めてまいりたいと思います」・・・と応えるユリアさん。

ROTARY International District 2232

Rotary Club of Rivne UKRAINE

ROTARY International District 2630

Rotary Club of Yokkaichi WEST JAPAN

And....

戦争をしている国の人の声をあまりにも簡単に伝えられることについて、ぼんやりとした違和感を感じています。

私たちは、戦争状態とは言いますが、平和状態とは言いません。平和が状態ではなく不変と考えたいのかもしれませんが。

一方、英語では、at WARの反意表現は at PEACE です。このことを知った学生時代、悲しく思ったことを覚えています。なぜなら、at は、突き詰めれば「点」であって、とても狭い場所か、あるいはとても短い時間を表すために使う用語だからです。

しかし、使い手の感覚次第で、点は途方もなく大きなものにもなります。良い意味の at が早く獲得されて、末長く続くようであって欲しいと、より多くの人々が思い、それが力を持つようであって欲しいと願いつつ、ウクライナの人たちとの交流と皆様への情報提供を続けたいと存じます。

四日市西ロータリークラブ

2022-23年度 R情報委員長 小川 和彦



UKRAINE - JAPAN- and more to be connected

17 March 2023 / 18:30 (Japan time) ~

次回 ウクライナ中継予定：2023年3月17日（金曜）午後6時半～



ITによって距離を飛び超えられる。

このことは以前から知られていました。コロナ禍によって、それはいよいよ当然のことになったと思います。より多くの人々が、距離を障壁とせずに交流できる時代になった点で良い変化と考えています。自由で活発な交流によってこれまで以上に人や情報が行き交い、新しい何かが生み出されるようであってほしいと願っています。

四日市西ロータリークラブは、今回のウクライナとの中継のみならず、前年度においては台湾の新店RCとの中継合同例会を成功させており、本年度はすでにフィンランドとの中継を行い、またオランダとの中継予定もあります。2023年3月17日には、再びウクライナとの中継を予定しています。ITによって距離を超えられることの素晴らしさをより多くの人にお伝えできればと存じます。

四日市西ロータリークラブ 2022-23年度 会長 藤牧 正浩



国際ロータリー第2630地区 四日市西ロータリークラブ

担当者：四日市西ロータリークラブ 2022-23年度 R情報委員長 小川 和彦

E: ywrc@pure.ocn.ne.jp W: <https://yokkaichi-west-rc.org> T: (059)-353-0349